



# 法人よつば たより

## No.19

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931  
 発行日：2022年 11月 1日  
 ホームページ：http://www.kashiwa-yotsuba.jp

### ☆ご挨拶

・法人よつば二十周年記念講演  
 会「テーマ・ひきこもりのご本人  
 と家族支援」

日時 十一月二日の午後三時から  
 四時半まで

会場 アミューゼ柏二階 クリスタルホールにて

講師 認定NPOニュースター  
 ト事務局 久世氏 上記の法人は、市川市を拠点に活動され、ご本人や家族からの相談、家庭訪問、社会参加のための住まいの提供、その働きがマスコミでも紹介されています。

出席の申し込み 法人事務局

・女性のためのグループホーム増  
 設案内

今年の十二月開設を目標に、柏市逆井地区(逆井駅から徒歩五分)に、定員五名の準備を進めています。夜勤者も配置しますので、安心です。すでに内容を説明したチラシも準備しています。1Kタイプの個室です。見学の方を歓迎します。問い合わせは、沼南荘(〇四・七一九三・五〇三二)まで。

### ☆生活介護事業「まーる沼南」

利用が始まっています

柏市大津ヶ丘三丁目、二百十七㎡(六十五坪)の平屋建てを用いて、就労継続支援B型「青い鳥」との多機能型支援事業所として開設されました。

・片道三十分程度なら、送迎を行います。

・心と身体の健康プログラム、娯楽の時間、社会参加プログラム、作業と趣味の時間を組み合わせて、皆さんをお待ちします。どうぞ見学・体験をお待ちします。

### ☆障害者の体験や思い



・流山市在住 AEさん

私は今、ほぼひきこもりの状態です。病院への通院は自動車で行きか出来てはいます。コンビニやたばこ買いは、時々出かけていますが、人に会うのが嫌いなので、出来るだけ短時間で用事を済ませています。以前から、人と話すのが苦手だったわけではありません。きつかけは高校生の時、「お前は臭い」と言われたことです。それから人の傍に寄るのが怖くなりました。外出するときは、風呂に入

り、服も着替えるようになりました。それでも、人に言われたことが頭から離れなくなりました。家族や病院の先生や看護師さんは「臭くない」と言ってくれますが、嘘だと思えてなりません。

また、家の外で誰かが見張っているような気がしてしまい、外出するのも怖くなりました。このために、家のカーテンも閉めて、見られないように気を付けるようになりました。一番ひどかったときは、ほとんど家から出られなくなってしまう、病院にも行けないことがあって、家族に薬を受け取ってきてもらいました。その時は、生きていくのがとてもつらく、死にたいと何度も思いましたが、その都度、家族からたしなめられていました。今思うと、その時はうつ状態にもなっていたのだと思います。

薬のおかげか、家族のおかげか、少しずつ気持ちは楽になってきました。外に出るのが、とても不安なこともあれば、ちょっとだけ楽に思える時があって、その時は近所のコンビニぐらいには、出かけられるようになりました。自分の中では、

「人のことは気にしなくていい」と考えますが、いざとなると緊張します。家族が病院と相談して、訪問看護の人に週一回来てもらえるようにしました。でもその時は大変です。前もって風呂に入り、部屋を少しだけ片づけるからです。看護師さんが帰られた後は、どつと疲れが出ます。そんな生活です。

**☆家族の思いと願い**

・柏市在住 ABさん  
(四回目を迎えての最終回、息子のことをお話します。)



骨折後の手術とそれに繰り返しハビリに耐えて、やっと年が明けた一月十四日に、退院の許可が出ました。息子はとても嬉しそうで、「本当に、本当に」と何度も興奮していました。その夜、私はホッとした気持ちで、泣いてしまいました。息子の頭の中は、家に帰ることといったばいの様子でしたが、退院後は精神科や、整形外科でのリハビリ、泌尿器科の受診が待っていました。そして外出時は、まだ車椅子の生活が続ききました。衝動的に飛び降りをして、命は助かったものの、その後の手術とリハビリは、本人にとって大きな困難

が伴いました。今では元気になっていますが、しばらくの間は自宅での生活でも、階段の上り下りの訓練は欠かせませんでした。

本人にとって数か月のことは、大きな教訓となったことでしょうか。また私にとっても、支えてくださった家族会の方たちのことも忘れません。息子のこれからの人生を家族として、寄り添っていきたいと思います。家族の出来事が、皆さんの役に立てれば感謝です。

**☆発達障害者の「家族会」と「当事者会」のご案内**

発達障害者の家族会は、会場は流山市ですが、参加者は隣接市の柏市や我孫子市、野田市などからも参加されています。毎回、近況報告とともに、情報提供や本や記事の紹介、マスコミなどでの紹介などを取りあげています。家族自身も暗中模索しながら、学びと経験を積み重ねている状態です。

当事者会では、自分の思いを話す場です。周囲の人たちが発達障害を理解できていないことがあつて、すれ違いや誤解も生まれますので、どんな思いでいるかを話す場となっています。

**※集まりの紹介**

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで

090-3696-1589

**☆法人の事業案内**

- ・就労継続B型 「よつば工房」(柏がんセンター近く)と「青い鳥」(大津ヶ丘)は、それぞれ定員四十人です。それぞれに、多くの仕事をやっており、自分の関心で選ぶことが可能です。
- ・就労継続A型 かるのこ 雇用契約に基づき、千葉県最低賃金を保証します。お弁当を作る仕事です。毎日百六十〜百七十食作っています。午前中や午後を選択できます。経済的に自立を願う人に向けた職場です。

・地域活動支援センターⅢ型「クローバ柏」、柏警察署の近くにあり、毎日のプログラム活動、趣味、就労準備などを行います。自分のペースで利用できる所が利点です。

**☆先人の言葉**



・ストレングスとは、本人の持っている強さや力に注目することである。つまり良い点に視点を向けていくこと。その内容として、一つに個人的要素と、二つに環境的

要素がある。C・Aラップの言葉として、「すべての人にはストレングスがあり、生活に抱く願望や抱負、個人的素質、特質や技能や才能、そして取り巻く環境の中に、ストレングスがある」と述べている。

・パスカルの言葉「なぜ他の人ではなく、よりよつてこの私が病に蝕まれるのかも同じこと。そうでないこともあり得た限りで、そもそも偶然なのだが、以後このことは、その人にとって運命となる」。

・正範語録。「実力の差は努力の差、実績の差は責任感の差、人格の差は苦勞の差、判断力の差は情報差の差。真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつばかり。本気でするから大抵のことは出来る。本気でするからなんでも面白い。本気でするから誰かが助けてくれる。」

**柏部会の案内**

日時 十一月二十六日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

**流山部会の案内**

日時 十一月二十五日(金)

午前十時から

会場 初石公民館 会議